別表第5 施工管理記録様式 (ほ場整備編)

施工管理記録様式(ほ場整備編)記入方法

- 1. ほ場整備事業にかかわる施工管理の記録は「別表第4施工管理記録様式」による他 この「別表第5施工管理記録様式(ほ場整備編)」による。但し、地区の実情で追加、 削除し使用できるものとする。
- 2. 管理規格値を定めていない項目については、記録による管理にとどめることとする。
- 3. 測定結果一覧表にて測定した場合には、木杭等で測定位置を明確にすること。
- 4. 構造が複雑で管理図表、測定結果一覧表によりがたい場合は施工管理図面(以下「図面」という)に朱色で明示すること。(地区界の変更含む。)

5. 整 地 工

- (1) 基盤均平、田面の直接測定はすべて標高を原則とし、全耕区を対象とする。
- (2) 試掘による表土厚の管理の方法については、あらかじめ監督職員と打合せを行うこと。

6. 水 路 工

- (1) 用水路は上流より排水路は下流より管理することとし、測定位置を木杭、又はマジック、ペンキ等で明示すると共に図面にも明示する。
- (2) コンクリート二次製品の本数も同時に記入する。
- 7. 付帯構造物で構造が様式にない場合は、略図を書いて測定項目を明確にすること。
- 8. 工種毎に平面図(位置図)を添付し、位置を明示すること。
- 9. 基準高の出来高管理図表は、「別表第4施工管理記録様式」の様式2を適用する。
- 10. 施工管理図表等の工事情報の電子化については監督職員との協議による。
- 11. その他疑義ある場合には、監督職員の指示による。

施工管理記録様式(ほ場整備編)一覧表

様式	1	出来形管理図表 (表紙) ・・・・・・・・・・・・・・・共	通様式
様式	2	整地工測定結果一覧表 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	269
様式	3	畦畔工測定結果一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	270
様式	4	道路工測定結果一覧表(延長) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	271
様式	5	道路工測定結果一覧表(断面)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	272
様式	6 (1 ~ 2)用水路・排水路測定結果一覧表(延長)・・・・・・	273
様式	7 (1 \sim 2)用水路・排水路測定結果一覧表(断面)・・・・・・	277
様式	8	測定結果一覧表(各種構造物) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	281
様式	9	進入路工測定結果一覧表(断面)	291
様式	10	取付道路工測定箇所標準図 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	293
様式	11	暗渠布設深・間隔・延長測定結果表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	294
参考	1	標準設計の表示に使用する凡例記号 ・・・・・・・・・・	295

|法場整備編 様式 2 整地工測定結果一覧表

|法場整備編 様式 2 整地工測定結果一覧表

|--|

 平成
 年度
 地区

 ほ場整備事業
 第
 工区
 工事

•畦畔工測	•畦畔工測定結果一覧表(断面)												
						m At local							
				[略図		1					
												(単位	:mm)
<i>∱</i> 2/2: ⊤1	里基準値(mm	.)										, .	
TE V		1)											
ほ区	耕区	種別	B1	H1	H2	n1	n2		L(m)				
		設計値 実測値											
	$\bigcirc \sim \bigcirc$	差											
		設計値											
	$\bigcirc \sim \bigcirc$	実測値											
		差											
		設計値											
		実測値											
	0~0	差											
		設計値											
	0~0	実測値											
		差											
		設計値											
		実測値											
	$\bigcirc \sim \bigcirc$	差											
備考													
	1. 耕区欄の〜印は、上下耕区の関連を示すもので、該当耕区番号を記入する。												
2. 測定位置は中間点とする。													

平成 年度 地区

•道路工測定	· 注結果一覧	表(延長)				(単位:1	nm)
路線名	種別	延	長	路線名	種 別	延	長
	設計値						
	実測値						
	差						
	設計値						
	実測値			-			
	差			1			
	設計値						
	実測値						
	差						
	設計値						
	実測値			1			
	差			1			
備 考	3. 標準設計	点には木杭を打 の表示に使用	する凡例記	2号は、参考-1を 優先し、支線、耕作			する。

平成 年度 地区
に提整備事業 第 丁区 丁事

は場整備事業 第 工区 工事 ・道路工測定結果一覧表(断面)																
┃•道路上測 ┃]定結果-	竟表	(断面))												
					r		吹 図		1							
	略図															
														(単位	:mm)	
koko witt +++ i iki-	<i>I</i> /															
管理基準	但(mm)															
名 称	種別	В1	В2	В3	H1	H2	n1	n2		T1	Т2	Т3	T4	Т5	Т6	
	設計値															
	実測値															
	差															
	設計値															
	実測値															
	差															
	71.															
	設計値															
	実測値															
	差															
	設計値															
	実測値															
	差															
	設計値															
	実測値															
	差															
	/															
	1. 始点より	 200m/=			 おかtr	<u> </u> つァレ			<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>					
							134 pp 4-	for stars		4 _ · · · · ·	\d= ·	_				
備考	考 2. B3、T4、T5、T6は搬入土の路線に適用し、舗装道路の路盤工は、6.道路工事を適用する。															
	3. 基準高、	中心線	とのズレ(e)は指5	とした場	合に適り	用する。									
							3. 基準高、中心線のズレ(e)は指定した場合に適用する。									

ほ場整備編 様式 6-1

平成 年度 地区

•水路工測定	結果一覧	表(延長)				()÷4 /÷	
路線名	種 別	延	長	路線名	種 別	(単位: ₁ 延	nm) 長
	設計値						
	実測値						
	差						
	設計値						
	実測値						
	差						
	設計値			.			
	実測値			-			
	差			-			
	設計値						
	実測値			-			
	差			1			
	— 压			1			
備 考		点には木杭を		19号は、参考-1を	参照すること。		:

 ± 0.00 00.0+ ± 0.00 ± 0.00 I.oV +0.00 当区 00.0+ ± 0.00 ンパン ± 0.00 水槽工 (箇所) 00.0+ ± 0.00 箫 +0.00 (\mathbb{H}) 暗(函)渠工 ± 0.00 00.0+ 構造物延長 (\mathbb{H}) 水路延長 (m) +0.00 0.oV ± 0.00 (m) ほ場整備編 様式 6-1-1 総延長 型 区 区 工事数量 箫 単距離(設計値) ""(実測値) 単距離(設計値) ""(実測値) 単距離(設計値) ""(実測値) 平成 年度 ほ場整備事業 設計値 実測値 追加距離 追加距離 追加距離 構造物 構造物 構造物 運河 運河 運河 至

ほ場整備編 様式 6-2

平成 年度 地区

・管○水路工	[測定結果	一覧表(延	長)				
						(単位:	mm)
路線名	種 別	延	長	路線名	種 別	延	長
	設計値						
	実測値						
	差						
	設計値						
	実測値						
	差						
	設計値						
	実測値 差						
	設計値						
	実測値						
	差						
		l]]	1		
	1. 全路線対	象とする。					
備考	2. 始点•終月	点には木杭を	打つこと。				
				1旦/1	*************************************		
	しい 保毕取訂	のな小に関力	ロ 9 のたが記	2号は、参考-1を	こ学出りること。		

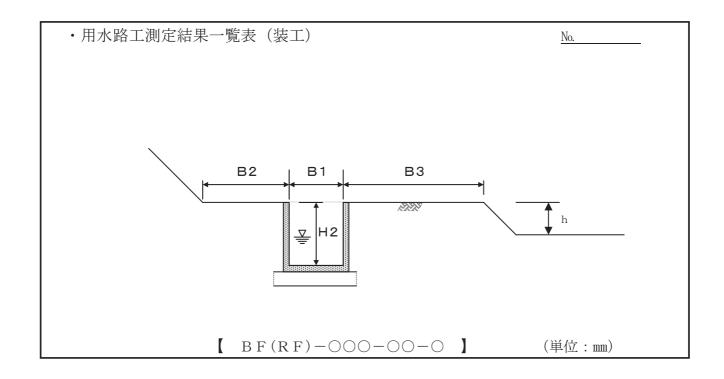
 ± 0.00 ± 0.00 00.0+ ± 0.00 I.oV +0.00当区 +0.00 00.0+ ンパン +0.00 +0.00 00.0+ 箫 管〇水路 +0.00 ± 0.00 00.0+ +0.00 +0.00 0.oV (m) ほ場整備編 様式 6-2-1 総延長 型 区 区 工事数量 箫 単距離(設計値) ""(実測値) 単距離(設計値) ""(実測値) 単距離(設計値) ""(実測値) 平成 年度 ほ場整備事業 設計値 実測値 追加距離 追加距離 追加距離 構造物 構造物 構造物 運河 河河 運河 差

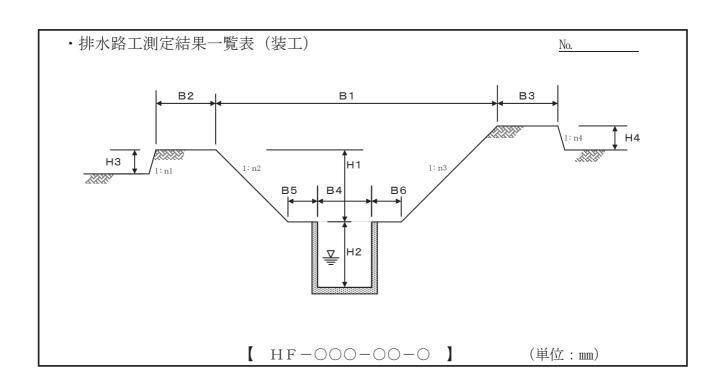
ほ場整備編 様式 7-1

平成 年度 地区

(単位 mm)	•○水路工測定結果一覧表(断面)															
管理基準値(mm)																
管理基準値(mm)																
管理基準値(mm)																
管理基準値(mm)																
管理基準 (mm) 品 B1 B2 B3 B4 B5 B6 H1 H2 H3 H4 h n1 n2 n3 設計値 (50 m)								略図]						
管理基準 (mm) 品 B1 B2 B3 B4 B5 B6 H1 H2 H3 H4 h n1 n2 n3 設計値 (50 m)																
管理基準 (mm) 品 B1 B2 B3 B4 B5 B6 H1 H2 H3 H4 h n1 n2 n3 設計値 (50 m)																
管理基準 (mm) 品 B1 B2 B3 B4 B5 B6 H1 H2 H3 H4 h n1 n2 n3 設計値 (50 m)																
管理基準 (mm) 品 B1 B2 B3 B4 B5 B6 H1 H2 H3 H4 h n1 n2 n3 設計値 (50 m)																
名 称 種別 B1 B2 B3 B4 B5 B6 H1 H2 H3 H4 h n1 n2 n3 実測値 差 1 </td <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>l</td> <td>l</td> <td>l</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>l</td> <td>1</td> <td>(単位</td> <td>:mm)</td>						l	l	l		1			l	1	(単位	:mm)
設計値 実測値	管理基準	值(mm)														
設計値 実測値	名 称	種別	B1	B2	B3	R4	B5	B6	H1	H2	H3	H4	h	n1	n2	n3
差 (50 m) 設計値 実測値 (100 m) 差 設計値 (150 m)	- H - 1/1		DI.				- 50		111	112	110	111		111	112	110
The state of th		実測値														
設計値 実測値		差														
設計値 実測値	(50 m)															
差 (100 m) 設計値 実測値 差 (150 m) 設計値 (150 m) 設計値 (150 m) 変計値 (150 m) (150 m) (150 m) (150 m) <t< td=""><td></td><td>設計値</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>		設計値														
(100 m) 設計値 実測値 差 設計値 実測値 差 設計値 実測値 設計値 実測値 実測値 実測値 実測値		実測値														
設計値 実測値 差 (150 m) 設計値 (150 m) 設計値 (150 m) 支測値 (150 m) 支割値 (150 m) 設計値 (150 m) 実測値 (150 m) 実測値 (150 m) 実測値 (150 m) (150 m) (差														
実測値 差 (150 m) 設計値 実測値 (150 m) 支 (150 m) 設計値 (150 m) 支 (150 m) (150 m) (150 m) 設計値 (150 m) (150 m)	(100 m)															
差 二 (150 m) 計值 設計值 二 美別值 二 設計值 二 実別值 二 (150 m) 二																
(150 m) 設計値 実測値 差 設計値 実測値 設計値 実測値																
設計値 実測値 差 設計値 実測値		差														
実測値 差 設計値 実測値	(150 m)	=1,=1/+														
差 設計値 実測値																
設計値 実測値																
実測値 実測値																
実測値		設計値														
備 考 1. 始点より50m毎に測定し、測定ヶ所の製品に印をつけること。	備考	1. 始点より	50m毎V	こ測定し	、測定な	r所の製	品に印	をつける	こと。							

【 様式7-1 略図 】





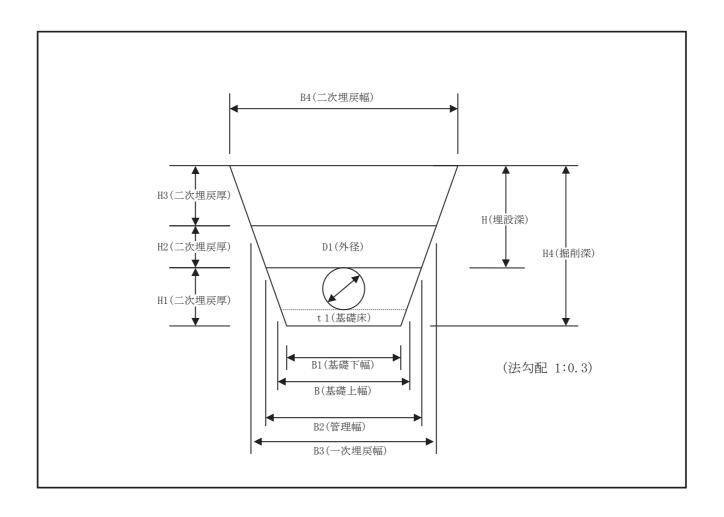
ほ場整備編 様式 7-2

 平成
 年度
 地区

 ほ場整備事業
 第
 工区
 工事

·管○水路工測定結果一覧表(断面)															
					r		m夕 1571		,						
					L		略図		1						
											管外径	D:		m/m	•
														(単位	:mm)
														(早刊	
管理基準	値(mm)														
名 称	種別	B1	B2	В3	В4	В		H1	H2	НЗ	H4	Н	n	t1	
	設計値														
	実測値														
	差														
(50 m)															
	設計値														
	実測値														
	差														
(100 m)															
	設計値														
	実測値														
	差														
(150 m)															
	設計値														
	実測値														
	差														
	設計値														
	実測値														
	差														
/± +7.	a 45 € 1-26)50 #>	- 2m(元-),	加小子工		· > 1.									
備考	1. 始点より	のUm舞り	-側正し	、側疋和	几を打つ	こと。									

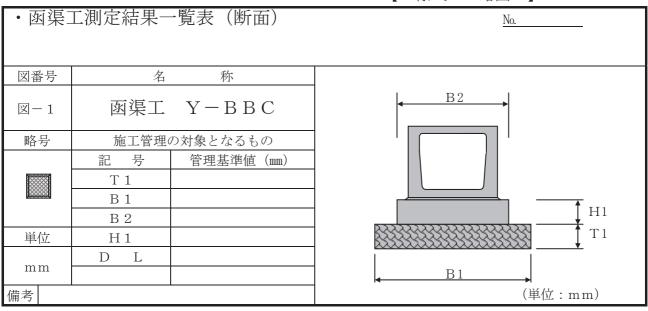
【 様式7-2 略図 】

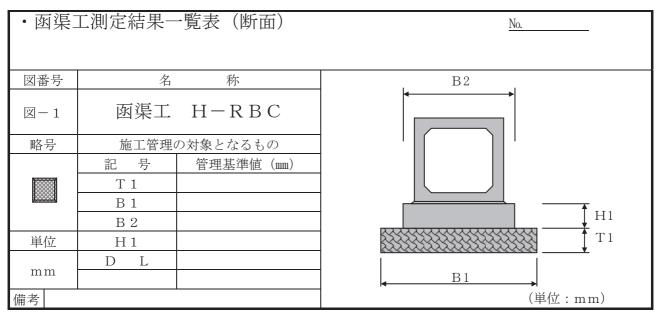


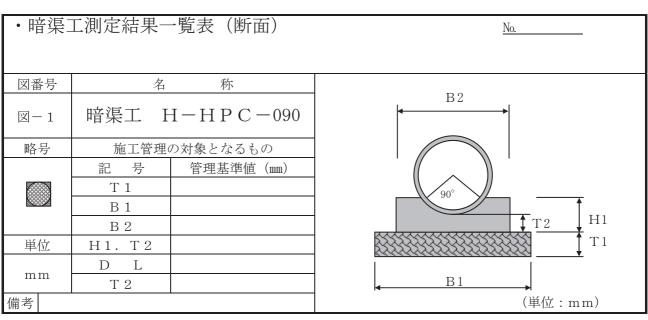
 平成
 年度
 地区

 ほ場整備事業
 第
 工区
 工事

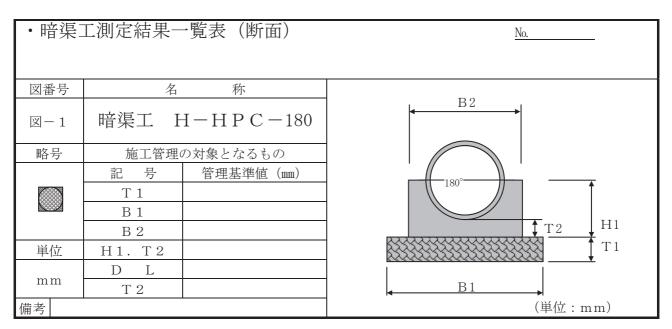
•○水路工 構造	•○水路工 構造物測定結果一覧表(断面)										
			[略図]				
			<u> </u>				1		<u> </u>	(単位	:mm)
管理基準値(m	nm)										
 名称(又は略号)	124 mil	Di	DO	DO	D.4	Ţ			111	110	Б
および施工番号	種別	B1	B2	В3	В4	L	t1	Н	H1	H2	D
	設計値										
	実測値										
	差										
(50 m)											
	設計値										
	実測値										
	差										
(100 m)											
	設計値										
	実測値										
	差										
(150 m)											
	設計値										
	実測値										
	差										
	設計値										
	実測値										
	差										
備考	考 1. この一覧表は、標準化されている諸構造物を管理する場合に使用する。										
	2. 上段空	欄に様式	15~19の必	必要断面を	貼る。又、	これにより	がたい場合	は断面を	記入してよ	٧٠°	
	3. 水槽等	の寸法管	理について	だ、4断面	を記入する	る。その場	合の寸法詞	記号は適宜	『決め、マミ	<i>シッ</i> ク等でネ	則定
	箇所を表示する。又、内側、外側、深さ等も各々測定する。										
	回刀で水小りる。入、P1側、7F側、休さ守も台へ側足りる。										

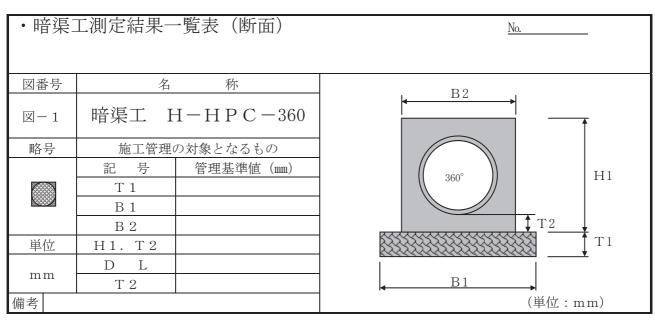




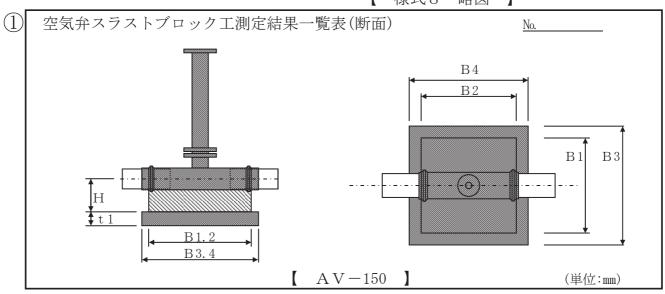


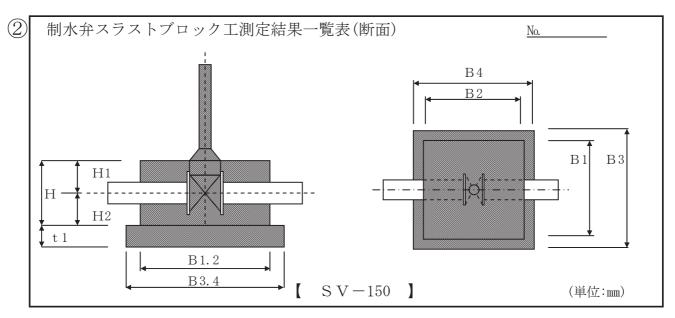
•暗渠	工測定結果-	一覧表(断面)	<u>No.</u>
図番号	名	称	B2
図-1	暗渠工 F	H-HPC-120	
略号	施工管理	の対象となるもの	
	記号	管理基準値 (mm)	
	Т 1		120°
	В 1		T2 H1
	В 2		$\begin{array}{c c} & \uparrow \\ \hline \end{array} \begin{array}{c} T2 & \downarrow H1 \\ \hline \end{array} \begin{array}{c} T_1 \end{array}$
単位	H1. T2		
100 100	D L		D
mm	Т2		<u>B1</u>
備考			(単位:mm)
		·	·

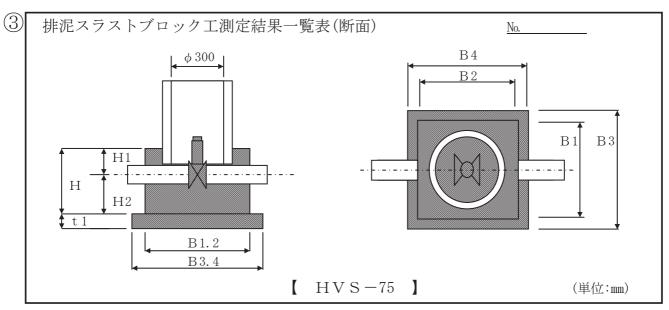


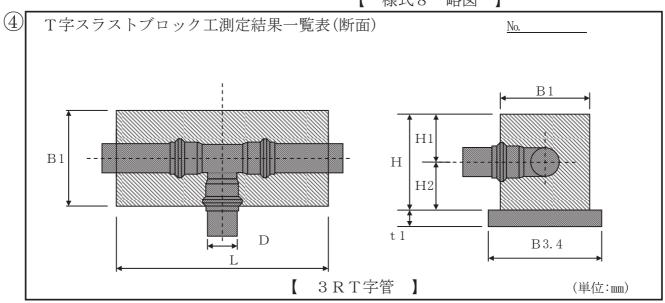


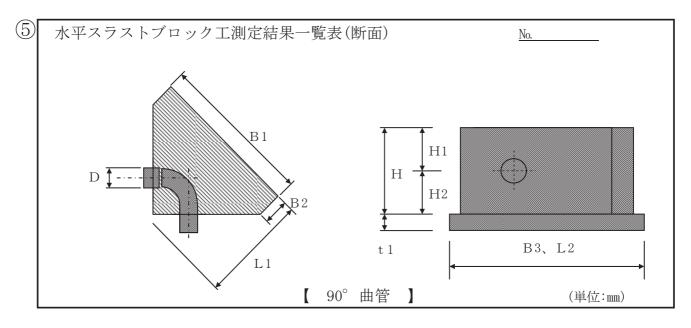
•暗渠	工測定結果-	一覧表(断面)	<u>No.</u>
図番号	名	称	
図-1	暗渠工 I	H-HPC-360	T3 B3. B4
略号	施工管理の	の対象となるもの	
	記号	管理基準値 (mm)	H1
	Т 1		H2
	В 1		
	В 2		T2
単位	H1. T2		T1
	D L		
mm	Т2		■ B1. B2
備考			(単位:mm)

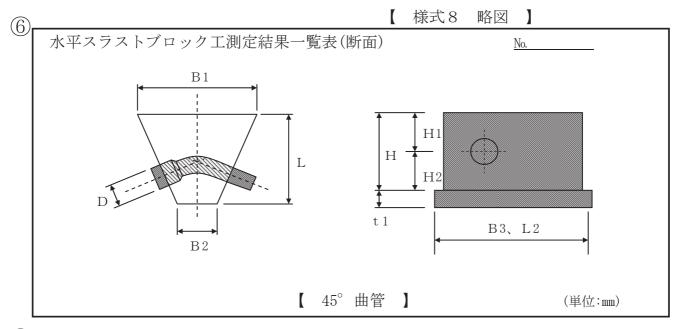


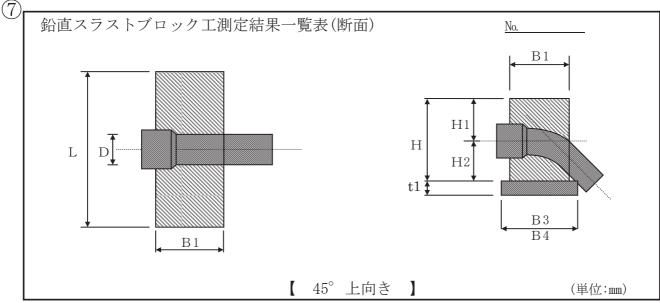


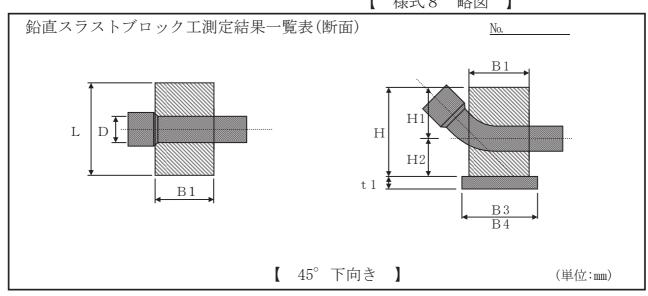


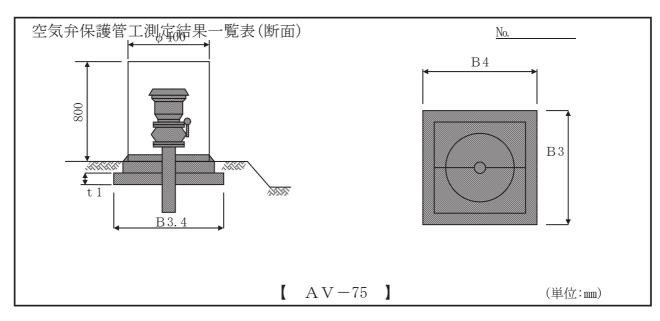


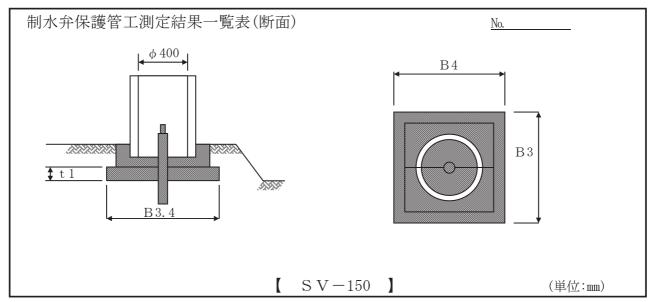


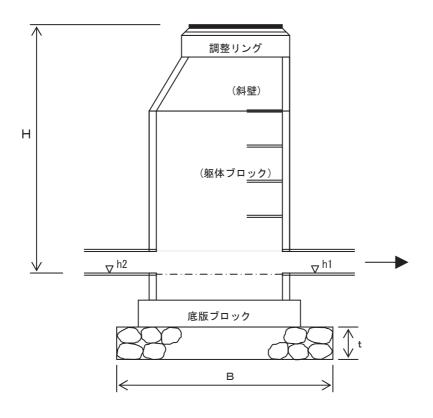










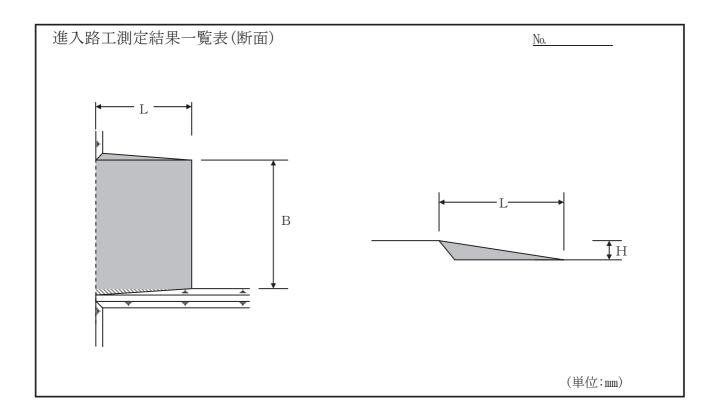


L VP φ 50 TSエルボ 50 * 90 KS -1.0 KS S -1.0

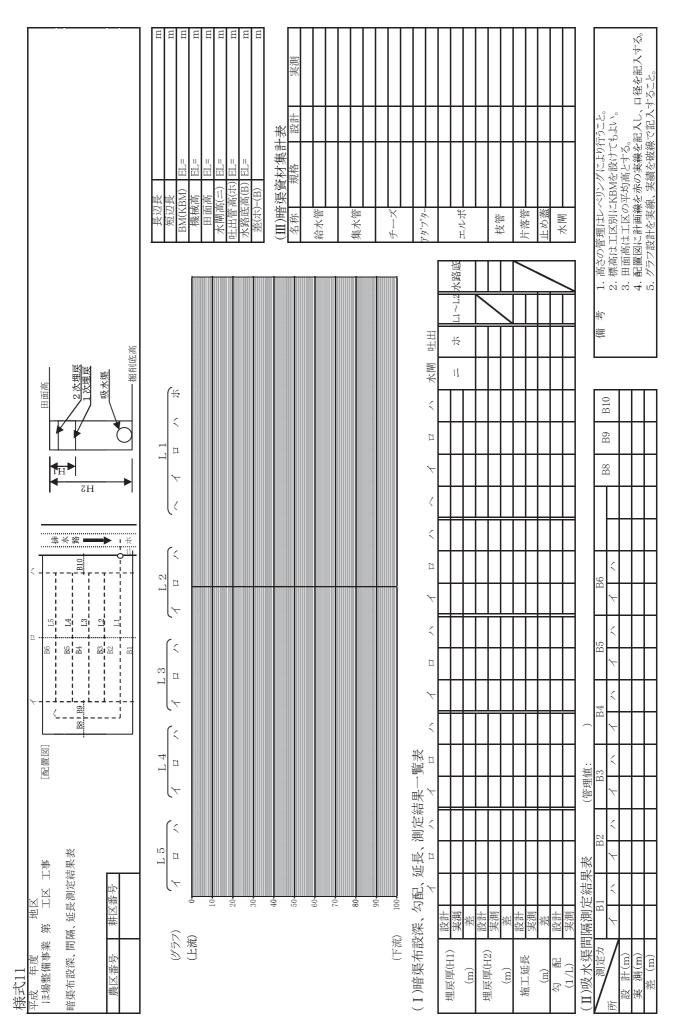
平成 年度 地区 ほ場整備事業 第 T区 T事

は場整備事業 第 上区 上事									
•進入路工測定結果一覧表(断面)									
	【 略			.lwl	1				
	l l		州 口,		1				
								(単位	:mm)
管理基準値(mm)					管理基準値(mm)				
			官埋基準値(mm)		1111)				
名称(又は略号)	種別	В	L	Н	名称(又は略号)	種別	В	L	Н
	設計値					設計値			
	実測値					実測値			
	差					差			
	設計値					設計値			
	実測値					実測値			
	差					差			
	設計値					設計値			
	実測値					実測値			
	差					差			
	設計値					設計値			
	実測値					実測値			
	差					差			
	上								
	到1.31.1cm					- 10-31 /d=			
	設計値					設計値			
	実測値					実測値			
	差					差			

【様式9 略図】



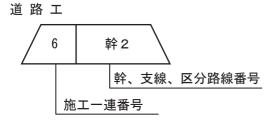
実測値 V 3 右 設計値 (単) 表層工(規格) 路盤工(規格) 路床工(規格) B3 B3)内路盤面 採 上段:路盤高(下段:舗装高 $\frac{B5}{V3}$ 実測値 V 2 typ-標準断面図 B1 М 設計値 B1 基準高 洲 出来形測定結果表 実測値 **B**2 V 1 左 取付道路 No.0+10.00 No.0+5.00 設計値 No.0+5.00 No. 0+10.00 測点 No.0 IIP 4 紙 実測値 舗装面積求積図 舗装面積計算 面積 設計値 \odot 番り 合計 無 4 (3) 超区 \bigcirc 上段管理値(朱書き) 下段:設計値 ほ場整備編 様式 10 箫 平成 年度 ほ場整備事業



ほ場整備編 参考-1 標準設計の表示に使用する凡例記号

A) - 般工事

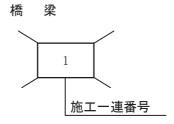




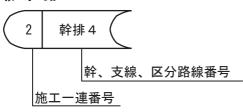
パイプライン 5 8 幹、支線、区分路線番号 施エー連番号

用水路工





排水路工





進入路工



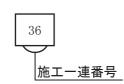


落 差 工





水口工





始終点



水槽エ